

2017年12月期・2018年3月期

# IFRSの決算対策

- I IFRS解釈指針委員会の決定にみる実務  
今期から適用となる基準とアジェンダ決定の概要
- II 金融商品、収益認識、リースなど  
公表済みで未発効のIFRS基準の概要
- III 買収先のリストラ計画や条件付対価に注意  
企業結合に関する実務論点
- IV 引当金、減損など多方面からの検討が必要  
リストラクチャリングに関する実務論点

今号では、2017年12月期および2018年3月期向けの、IFRSの決算対策をお届けする。IFRS実務においては、今期から適用となる基準はもちろん、IFRS解釈指針委員会のアジェンダ決定で示された論点・結論への留意も必要となる。そこで、2017年に行われた最新のアジェンダ決定の概要も紹介してもらっている。また、実務で気になる論点として、企業結合とリストラクチャリングを取り上げている。さまざまな検討が必要となるテーマでもあるため、ご確認いただき、お役立ていただきたい。